



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第13回例会(10月11日)
令和元年10月25日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 西島光茂
川徳デパート内 幹 事 勝 雅行
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 金沢 滋
例 会 日 毎週金曜日12時30分～ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ ROTARY CONNECTS THE WORLD:ロータリーは世界をつなぐ...マーク・ダニエル・マローニー
盛岡RC会長テーマ 令和元年:世の為、人の為、奉仕を続け、輪を繋げましょう-西島光茂



新入会員卓話

学校教育の動向とICT活用

東日本電信電話(株) 岩手支店長

星 伸寿 君

盛岡に着任する前に、学校教育におけるICTの活用をテーマに仕事をしていたことがあります。その際に学んだ、日本の学校教育の動向、新しい方向性について、ご紹介します。

世界の人口が、2050年に98億人、2100年には112億人と増加が見込まれる一方、日本では2050年に9,050万人、2100年には5,000万人程度に減少するといわれています。また、急速に発達が進むAIは、多くの分野で人の仕事を代替するようになるといわれています。「職をAIに奪われる」とのAI脅威論もありますが、むしろAIをうまく活用していかないと社会、経済基盤の維持は難しいとの考え方が、的を射ているのかもしれない。

こうした社会変化に伴い、仕事に求められる能力も変わってきています。世界経済フォーラムの資料には、2015-2020の5年間で思考力(論理性)、創造性がより重視されるようになったと書かれています。課題が複雑化、また、答えがひとつとは限らない時代に論理性と創造性で、新しい仕事を創り出していく。そういう力が求められているのでしょうか。

そこで、日本の学校教育も変わろうとしています。2020年に学習指導要領(子供の指導方法のマニュアル。10年に一度見直しされる)が大きく変わります。これまでの知識、技能に加え、「思考力・判断力、表現力を伸ばす」教育を重視すると書かれています。授業は、先生が一方的に説明するの

でなく、子供が自ら課題を設定する、子供同士で対話しながら学ぶことを重視したスタイルをめざすとされています。さらに近年のICT化、グローバル化を背景に、プログラミング教育、英語4技能(読む、書く、聞く、話す)の習得も授業に取り入れられることとなります。

しかし、先生は多忙です。また、授業のコマ数や時間に制約がある中で、新たなカリキュラムを追加するのは難しい。こうした課題を解決するため、文部科学省は教室にICT機器を整備し、授業を効率化するとともに、学習効果を高めるツールとして活用していく方針を示しています。具体的には3人に1台分のコンピューター(タブレット)の導入とすべての教室で高速インターネットに接続できる環境をめざすというものです。先生はタブレットを活用することで、視覚的に分かりやすい授業ができます。また、生徒ひとりひとりの意見を確認しながら授業を進めることもできます。さらに、授業の準備が効率化され、資料印刷や配布の手間も軽くなります。そもそも今の子供たちはデジタル世代です。ノートと鉛筆よりもタブレットの方が、上手に自分を表現できますので、授業を楽しめます。

しかしながら、この環境整備は岩手を含め、全国的になかなか進んでいません。自治体の予算の問題に加え、先生や教育委員会はICTに苦手意識があります。今、校内には昔ながらのパソコン

教室に古いデスクトップパソコン（学校によってはWindows XPのパソコンも・・・）が埃をかぶって放置されていることがよくあります。パソコン教室は、教室への往復、システムの起動、準備が面倒との理由であまり活用されないため、今回の文部科学省は、どの教室でも簡単に使えるタブレットを準備することにしています。一方、諸外国では、学校でコンピューターの整備が進み、学びが進化しています。アメリカでは義務教育の中でコンピューターサイエンスという科目を新たに作り必修にしています。中国でもSTEM教育（Science、Technology、Engineering、Mathematics）を、国を挙げて推進しています。この分野では日本は周回遅れなのかもしれません。

日本の学校、先生は、世界に誇れる教育システムと指導方法を持っています。ただ、世界の変化に合わせてこれをアレンジしていく必要があります。ICTが苦手といっても、普段スマホを使っている先生が多いわけですから、使い始めれば慣

れるのにそれほど時間はかかりません。素晴らしい指導法を持った先生がICTを使いこなしたら、これまで以上に素晴らしい、楽しい授業ができるでしょう。実際、首都圏の私立学校では、一人1台のタブレットを導入し活用している学校が増えています。そうした学校の中には学力や大学進学等の面で大きな成果がでていところもあります。また、他県の公立校でもその動きが出てきています。岩手が他の地域に遅れてしまうと、岩手の子供たちにとってはとても残念な状況になってしまいます。地方にはさまざまな課題がありますが、すべてに共通するテーマは、人材育成ですよね。岩手に愛着を持ち、岩手の産業を担う人材、岩手から世界に羽ばたく人材を育成する。我々大人の一番の仕事であり、夢であると思います。ぜひ、子供たちにより教育環境を準備してあげられるよう、地域社会として理解を深めていく必要があると思います。私もお手伝いしたいと思います。

例会報告

第13回例会
令和元年10月11日(金)

- 12時30分 開会点鐘
- ・司会 熊谷隆司副会長
 - ・ロータリーソング（我らの生業）
 - ・四つのテスト斉唱
 - ・会長報告 熊谷隆司副会長
 - ・結婚祝 坂本広行君
 - ・幹事報告 勝 雅行幹事
 - ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆佐藤重昭君…
今期はじめての出席なのでニコニコします！
- ◆飯塚 肇君…
中国オープンで、世界ランキング1位のバーディーを破って優勝した大坂なおみにニコニコします。
東レパン・パシフィック・オープンに続き、日本女子初の2大会連続優勝を成し遂げました。
東京オリンピックに日本代表と

して参加するために、日本国籍を選択する手続きに入ったこともうれしい知らせです。

- メイクアップ
仙台平成R.C.=橋本君
地区=田中君
盛岡西北R.C.=下道君
クラブ委員会=勝・眞下・菅原君

出席報告

会員数/74名

出席数/42名

出席率/60.00%

前々回/65.75%



プログラムのお知らせ

- ・10月25日(金) 第2回クラブアッセンブリー
- ・11月1日(金) 特別休会②
- 8日(金) 新入会員卓話 赤沢文彦会員
- 15日(金) ゲスト卓話 高濱康巨（盛岡市都市整備部長）
- 22日(金) ゲスト卓話 菊池完之（㈱日本ホームスパン代表取締役）
- 29日(金) 新入会員卓話 上野好章会員

●本号編集担当/佐藤 仁志